

## 本時のねらい

孔子の言葉と現代の考え方の共通点を考え、自分の言葉で考えを表現することができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレット PC に配信したシンキング・ツールを活用することで、整理した情報や思考を、他者と共有する。
- ・Google スライドの共同編集機能を活用することで、全員が同時に作業する。
- ・スライドを作成することで、家庭学習として振り返って学習する。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクト
- ・Google スライド
- ・Google Forms

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 めあて：孔子の言葉と今の考え方に通じる共通点について考え、自分の言葉で表現する。	・一人ひとりのタブレット PC に、交流の流れについて配信することで、子どもたちが授業の流れを確認できるようにする。
展開 (40分)	○前時に考えた自分の意見をもとに、班で交流する。 ・聞き手は、発表の内容について、もっと知りたいことや新たな気づきなどをメモする。また、発表者に対して、気になったことを質問し、交流を深める。 ○交流した内容をもとに、孔子の言葉がどのような点で現代に通じているのかを考え、Google スライドにまとめる。 ○まとめた内容を、クラス全体で発表し、交流する。	・自身の考えを発表する際は、シンキング・ツールを活用し、相手が分かりやすいように説明するよう促す。 ・聞き手は、発表内容をワークシートやメモアプリなど、まとめやすいものを自身で選択するよう伝える。 ・Google スライドの共同編集機能を活用して、役割分担を行いながら資料を作成するよう伝える。 ・発表する際は、見せたい部分を拡大するなどして、相手がわかりやすいように工夫するよう伝える。
まとめ (5分)	○Google Formsを活用して、単元全体を通してできるようになったことや深く学びたい内容について記入する。	・Google Forms を活用することで、子どもたちの学びの振り返りを瞬時に集計したり、深く学びたい内容を把握したりできる。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：シンキング・ツールを活用して、自分の意見をまとめている場面



写真2：シンキング・ツールを活用して、自分の考えを班で交流している場面



写真3：班で交流した内容を考えたことを Google スライドにまとめている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・シンキング・ツールを活用することで、情報や考えを整理することができ、生徒が今まで以上に自信を持って発表することができていた。
- ・ICT 機器を活用することで、考えをまとめる→発表・交流する→深める→振り返るという流れが、途切れずに行える。そのため、ほとんどの生徒が、交流を通して考えを深めることができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレット PC 上でシンキング・ツールを活用することにより、思考の流れを可視化するだけでなく、データとして記録することができる。そのため、以前よりも大幅な時間短縮につなげることができる。また、共同編集機能を活用することで、生徒一人ひとりが役割を持ち、自分の担当に責任を持って活動に取り組むようになった。全員で同じ資料を見て作業を行うため、互いの進捗を確認し、対話しながら作業を行うことができる。